



わたしの夢づくり



自らの学びや経験を生かして地域で積極的に活動する方々を訪問し、実際に活動する様子や生の声を取材します。

～パソコンを使って楽しい人生を～



斉藤 豊一さん

愛知県生涯学習推進センターに登録している学習サークル「パソコンペイント倶楽部」代表の斉藤さんに、お話を伺いました。

斉藤さんは、母親の介護をするため、地元(名古屋)に戻り、仕事と介護を両立させながら忙しい毎日を過ごされました。退職した1年後に、母親が介護施設に入所し、自分の時間ができた時に何かをしなくてはと思ったそうです。

シニアとパソコン

そこで、愛・地球博の準備段階で「市民プロジェクト」に2年間かわり、「シニアライフをITで豊かに！メッセ」を企画し開催されました。

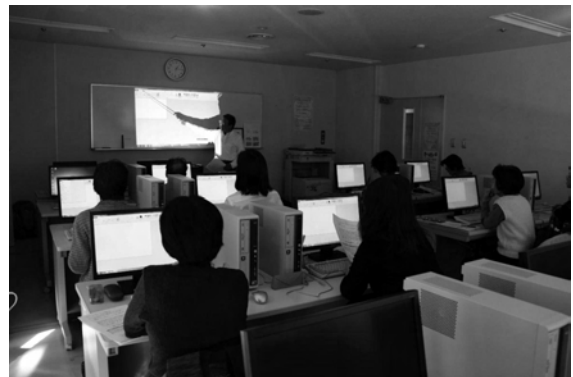
パソコンやインターネットを通じて、シニアの方に「生活の楽しさを見出していきたい」という思いが湧いてきました。そして、市民プロジェクトのワークショップ「世界で1冊の絵本を作ろう」を万博会場で開催しました。パソコンで絵を描くこのワークショップで味わえた楽しさが、その後「パソコンペイント倶楽部」を立ちあげるきっかけとなったそうです。

ボランティアに興味を持つ

この2年間で、ボランティア経験が豊かな方々と出会う機会に恵まれた斉藤さんは、ボランティアに興味を持つと同時に、「ボランティアとは何か？」という疑問に直面し、勉強されました。

「あいちまなびいデイ」にて

昨年11月に当センターで行われた「あいちまなびいデイ」で、斉藤さんは同サークルの指導者末岡脩さんと共に「パソコンでお絵描き教室」の講師をされました。参加者は初めてパソコンペイントを体験するという方々で、戸惑うこともあったようでしたが、出来上がった作品に十分満足できたようです。「とても楽しい時間でした。」と参加者からはパソコンの楽しさを実感する言葉がたくさん聞かれました。



「あいちまなびいデイ」パソコンでお絵描き教室

当センター「メディア実習室」

発表する機会が大切

斉藤さんは、参加した人が喜んでくれた時に、やりがいを感じるそうです。また、愛知県生涯学習推進センターなどの作品を発表できる場所があることはとてもうれしく、自分達が作った作品をたくさんの人に見てもらうことで、モチベーション(やる気)が上がるそうです。

取材を通し学んだことを生かしたり、発表したりする機会を大切にすることが、生涯学習の充実につながることを学ぶことができました。



パソコンペイント倶楽部(描画指導講師)末岡脩さんの作品「文化のみち」葉館

《問合せ先》 『パソコンペイント倶楽部』代表 斉藤豊一
携帯 090-9901-1282